

平成26年度行政評価の結果等について

1 本市の行政評価の概要

総合計画で掲げた長期的な目標の達成度を、包括的・体系的に評価するため、「政策評価」「施策評価」「事業評価」の3階層で構成

評価の種類	概要
政策評価	総合計画基本計画の政策体系に基づき、基本施策における目指すべき市民生活の状態の達成度を測り、市民満足度の向上を目指すもの (総合計画基本計画の改定時期に総括評価として複数年を対象に実施)
施策評価	基本施策に連なる各施策について、施策の進捗状況や市民満足度の推移などを踏まえて、施策の課題抽出や今後の方向性を検討するもの
事業評価	各事業について、施策目標を達成するために何が有効であるかという視点から、今後の取組方針を検討するもの

〔参考〕 施策評価の評価方法

- ・ 各施策について、3つの評価指標に基づいて多角的な総合的な評価を実施
- ・ 評価は、点数化による定量的な評価によって客観性を確保

《評価指標の概要》

評価指標	概要
①施策指標の達成度	総合計画基本計画に掲げる施策指標の達成度を評価
②市民満足度の推移	市民意識調査結果において、各施策の満足度について「満足」又は「やや満足」と回答があった割合（市民満足度）の推移を評価
③主要な構成事業の進捗状況	総合計画基本計画のまちづくり戦略プロジェクトや主要事業から、主要な構成事業として選択した事業の進捗状況を評価

《評価点数の考え方》

評価指標	評価の区分 [点数]		
①施策指標の達成度	A 達成度90%超 [33点]	B 達成度70%～ 90% [25点]	C 達成度70%未満 [15点]
②市民満足度の推移	A 前年度より向上 (+5ポイント超) [33点]	B 前年度同水準 (±5ポイント以内) [25点]	C 前年度より低下 (-5ポイント超) [15点]
③主要な構成事業の進捗状況 (原則5事業)	A 計画以上 (2事業以上が「計画以上」 の場合(「計画より遅れ」の 事業がある場合を除く。)) [33点]	B 計画どおり (主に4事業以上が 「計画どおり」の場合) [25点]	C 計画より遅れ (2事業以上が 「計画より遅れ」の場合) [15点]
総合評価	順調 [90点以上]	概ね順調 [65点以上90点未満]	やや遅れている [65点未満]
①②③の組合せ (点数)	AAA (99点) AAB (91点)	ABB (83点) AAC (81点) BBB (75点) ABC (73点) BBC (65点)	ACC (63点) BCC (55点) CCC (45点)

2 評価結果の総括

(1) 施策評価（別紙1参照）

- ・ 総合評価においては、84施策のうち、「順調」が2施策（2.4%）、「概ね順調」が82施策（97.6%）となっており、全施策が「概ね順調」以上の評価となっている。
- ・ 個別の評価指標で見ると、「施策指標の達成度」については、8割以上の施策指標（130指標中110指標）で、達成度90%超となっているが、全ての施策において、単年度目標が100%となるよう、取組を強化する必要がある。
- ・ また、「市民満足度の推移」については、8割以上の施策（84施策中71施策）で、前年度を上回るか、又は前年度と同水準で推移しているが、残り2割の施策についても、市民満足度の向上に向け、取組の強化や認知度の向上に取り組む必要がある。
- ・ 「主要な構成事業の進捗状況」については、全施策が計画以上又は計画どおりとなっており、着実に取組が進んでいる。

[総合評価の結果概要]

区分	施策数（割合）
順調	2（2.4%）
概ね順調	82（97.6%）
やや遅れている	0（0.0%）
計	84（100.0%）

[主な施策分野の状況]

区分	施策No.	施策分野	①施策指標の達成度	②市民満足度の推移	③主要な構成事業の進捗状況	総合評価
A評価が2つある施策	4	高齢者の社会参画の促進	みやシニア活動センター延利用者数 H25 目標3,500人 実績3,936人 達成度 112.5% ----- 【A】	31.9%→ 28.5% -3.4pt	計画以上	順調 (91点)
	67	地域特性に応じた土地利用の推進	地区計画導入地区数 H25 目標23地区 実績24地区 達成度 104.3% ----- 【A】	18.0%→ 23.1% +5.1pt	計画どおり	
BとC評価がある施策	38	青少年の社会的自立の促進	地域などでの社会的な活動に取り組んでいる青年（20歳代）の割合 H25 目標20.0% 実績13.3% 達成度 66.5% ----- 【C】	19.8%→ 22.8% +3.0pt	計画どおり	概ね順調 (65点)
	46	生物多様性の保全	生物多様性保全の意識を持った自然ふれあい活動の体験者数 H25 目標1,200人 実績472人 達成度 39.3% ----- 【C】	25.1%→ 20.8% -4.3pt	計画どおり	
	62	良質な農林産物の生産・普及の促進	うつのみや地産地消推進店数 H25 目標100店 実績75店 達成度 75.0% ----- 【B】	39.3%→ 31.2% -8.1pt	計画どおり	

(2) 事業評価（別紙2参照）

- ・ 868事業のうち、各事業の今後の方向性として、「継続」が779事業（89.7%）、「見直し（予定を含む）」が89事業（10.3%）となっている。
- ・ 見直し対象事業については、その内容としてサービスの充実・拡大や事務の効率化が中心となっている。
- ・ 引き続き、改善に取り組みながら、効果的・効率的な事業の実施を図っていく必要がある。

[事業評価の概要]

区 分		事業数（割合）
継 続		779（89.7%）
含見 む直 し （予 定を ）	改 善	42（4.8%）
	拡 大	23（2.7%）
	縮 小	4（0.5%）
	廃止・終了（統合を含む）	20（2.3%）
	小 計	89（10.3%）
計		868（100.0%）

3 日本一施策事業について（別紙3参照）

- ・ 市民が誇りや愛着を持てるような、全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業（日本一施策事業）を創出・推進するため、行政評価において、平成25年度の取組から81事業（新規2，継続79）を選定した。（平成24年度は88事業）
- ・ 餃子などの地域資源を活用した「宇都宮ブランド戦略」や「自転車のまち宇都宮」の取組については、本市の魅力発信に大きく寄与し、定着している。
- ・ また、本市が先駆的に実施した「学校給食における食物アレルギー対応」をはじめ、現在では多くの自治体で実施する取組については、今回選定の対象としなかった。
- ・ 今後とも、本市の実情にあった特徴ある施策・事業を創出・推進し、広くアピールすることによって、本市の魅力向上や他自治体への波及に努めていく必要がある。

[主な取組]

区 分	取組の考え方	主な取組
独自性	地域の資源やアイデアを活用し、宇都宮らしさや獨創性・獨自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの	◆宇都宮ブランド戦略 本市の認知度や信頼度を高めるため、独自の都市ブランド戦略を展開 ◆自転車のまち宇都宮 地域特性を活かし、ひとや環境に優しい自転車を活用したまちづくりを推進
先駆的	市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国の先駆けとなるもの	◆教養講座「宮の朝活」の開催【新規】 仕事等で忙しい世代が、他に例を見ない早朝からの時間を有効に使い、最新の時事問題などを学ぶ教養講座を開催
トップクラス	活動量やその成果などが、客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの	◆子どもの読書環境 学校図書館司書の全校配置や、子どもの健全育成支援などを特色とした図書館サービスを充実。全国でもトップクラスの小中学生読書量・中核市トップの図書館児童書蔵書数・貸出点数

4 評価結果等の活用

各施策の進捗状況や課題等の分析から導かれた方向性を踏まえ、総合計画実施計画の策定や平成27年度予算編成に反映させていくとともに、行政改革の推進や補助金等の見直し等に活用していく。